

第7回 大田区基本構想審議会第2部会 議事要旨

日時	平成 20 年 2 月 8 日（金） 午後 6 時～ 8 時
会場	大田区役所 801 会議室
出席者	幸田委員（部会長）、菅谷委員、宮澤委員、村松委員、柳ヶ瀬委員（五十音順）
欠席者	菊池委員

1. 開会

2. 配布資料の説明

3. 審議

事務局説明

審議

【基本構想に関する答申案について】

- ・ 本日は最後の部会であり、事務局からのご説明も踏まえて、基本目標、個別目標の説明文などについて合意を形成したい。
- ・ 質問をしたい。答申案の 4 ページ以降の形式について、説明が並んでいるものと、箇条書きのものがあつたと記憶しているが、本日の案では併記されている。部会間の調整でこうなったのか。

（事務局）

- ・ 両方乗せたらどうかという意見があつた。今後、審議会において形式を討議したい。

1. 基本目標について

（委員）

- ・ 基本目標の説明文について討議したい。まず、第 2 部会の説明文が長いという指摘であるが、短くするのは簡単である。他の部会と同レベルにすれば良いという意味か。

（事務局）

- ・ 対案として 2 を出させていただいた。前段のフレーズが高齢者の下から 3 段の表現とだぶっているので、削除した。

（委員）

- ・ 部会に先立ち、各委員からコメントを頂戴している。各自のご意見について

述べていただきたい。

- ・ 「確実に到来する」が「少子高齢社会の到来」の枕詞になっているが、そういいきって良いのか。政策的にあきらめている感じがするので、改めたい。また、コメント 5 の「コーディネート機能」については、レベル感の違い、主語がはっきりしていない点から削除しても良いと考える。

少なくとも、人口が減少し、高齢者が増加することは確実なので、「人口減少高齢社会」と言い換えても良い。しかし、施策として子供を対称にしたものが多いので、「少子高齢社会」という言葉は入れても良いと思う。

少子化はかなりの確実で生じそうであるが、確実にと言い切る点に違和感がある。

それであれば、冒頭の部分を削除すれば良い。

「コーディネート機能」という言葉を落とすという件について。これまで重点的に討議してきた点でもあるので、抜け落ちてしまうのはどうかと思う。

少なくとも個別目標には入れた方が良い。

行政が支援を「コーディネートし」としたらどうか。

言葉を日本語にした方が良い。「支援・調整しながら」となるのか。

行政が行うのは助言までであり、支援に近い。

- ・ 「コーディネート」の主体をはっきりさせるべきである。そこで代案として、自治体本来の役割を入れたものを出した。

行政の役割は入れた方が良いと思う。

- ・ コメント 7 の言い換えについては問題ないと考えて良いか。

一同、賛成

- ・ 全体としていえば、他の部会にあわせるために文章を縮めるべきというのは変だ。必要なものは残すべき。第 2 部会の対象分野は広い。ただし、対案程度の縮め方であれば、良いと思う。

一同、了解

- ・ 3 行目の「地域」は落とすべき。区民、団体、事業者と地域は並列ではない。
- ・ 6 行目の「産み育てやすい」という言葉について。他区の基本構想をみてみたが、育成環境という言葉を使っているところが多かった。「産み育て」という言葉の方がわかりやすく、良いと思う。

(作業部会)

- ・ 下から 4 行目が「障害を有する区民」となっているが母子家庭、経済的に困った人などを含めた言葉にしたらどうか。具体的には、「障害などハンディキャップを負った方」というのはいかがか。

了解

2. 個別目標について

- ・ 目標1のキャッチフレーズについて。子供に「地域」を担わせるというのに違和感がある。「次世代」が適当ではないか。

「次世代」であると冒頭の「未来」とかぶる。

次世代だけではなく、子供に自分のいる地域に愛着を持ち、貢献して欲しいという意味をこめて、地域という言葉を使った。

子供にも親にも地域を担うという気持ちがかけている。安全もそれにかかっていると思うので、こだわっている。

「地域を愛する」にしたらどうか。

語感としては「担う」が良い。

- ・ 「産み育てるための保健・医療」という言葉に違和感があるので、「成長を支える福祉・保健・医療」に置き換えたい。
- ・ 「手を携えて」は禁句か。

教育委員会指導室から、学校現場では使わないようにしているという意見がでた。

過剰な日本語排斥運動につながらないようにして欲しい。「力を合わせて」という表現が下とだぶったので置き換えを提案した。必要であれば、変更する。

- ・ 5行目の、「学校では」の後に「特別支援教育をはじめ様々な課題にこたえ」を加えたらどうか。

特別支援教育というとレベルが細かくなりすぎる。

ここでの討議は具体的な施策の提案ではない。部会には作業部会の方々が出席しており、議論を今後、計画に反映してくれるという性格のもの。

個別具体的な施策名に近いものは避けたほうが良いのではないか。

- ・ 「コーディネート」が基本目標で落ちるのであれば、個別目標1に入れたらどうか。

「コーディネート」についてはペンディングという理解である。

- ・ 1行目で、「保健・医療」ときたら、福祉を入れた方が良い。
- ・ 2行目の「家庭」を「保護者」に置き換えるべき。

保護者という言い方もあるが、家庭のなかには兄弟も入っている。

しかし、この文脈では兄弟は入らないと思う。

- ・ 個別目標2について。全体として文章が長くわかりにくいので、整理する必要があると思う。

事務局で一度、整理する。

- ・ 「ユニバーサルデザイン」という言葉を平易な日本語にできないか。

置き換えるとすればどのような言葉をつかうのか。かなり定着しているのではないか。

「ユニバーサルデザイン」自体、20年後は死語になっているかもしれない。大事なのは、「誰」にとっても良いということではないか。

(作業部会)

- ・ 4行目。自立、就労を促進すべきなのは、障がい者だけではないので、「誰もが」にしたらいかがか。実務的にみて、現状では母子家庭や生活困窮者がカバーできていない。

障がいという言葉が福祉をカバーする個別目標 2 の中にないと反発をうける可能性がある。「障がい者など」にするか。

「障害者など」という言葉では乱暴すぎる。

「弱者」という言葉も使いにくくなっている。「要支援者」という言葉になるのか。「要援護者」には生活支援者も含むか。

この部分は事務局で考えさせていただくということでしょうか。

「障がい」という言葉はぜひ入れて欲しい。

- ・ 以上の議論以外の委員からの提案(言い換え)はいずれも反映させる。
- ・ 個別目標 3 については、委員からいただいた 3 つのコメントを反映させる。

3. 基本目標に盛り込むべき施策について

- ・ 個別目標 1 に係わる部分。施策のレベル感にばらつきがある。大きな方向性と具体的なものが混在している。

具体的な施策については事務局に決定を担保したらどうか。レベルを統一してくれればよい。

- ・ 2 番目のパラグラフ。「企業」をあえて入れる必要があるのか。今後、企業にも貢献も求めていくことが必要ではないかと考えて加えた。これこそ、「など」をつけたらどうか。
- ・ 「子育て」に係わる部分にあえて、専門機関の設置と書いた。コーディネートの部分で児童相談所が欲しいとみな思っている。
- ・ 学校教育に係わる部分。教員の本来業務の範囲はどこまでか。例示をした方がよい。

コメント 32 を除き提案を反映。事務局で文章、施策レベルの整理を行う。

- ・ 個別目標 2 に係わる部分。「誰もが安全に」を具体的にするために、蒲田・大森における移動の利便性について提案させていただいた。審議会でも検討してほしい。

(生活基盤について)ほかにもいろいろな課題があり、第 1 部会で「まちづくり」という大きなくくりで扱っている。

部会案に含められなくても、委員として審議会で意見を述べるのはかまわないか。

全く問題ない。述べるべきだと思う。

それでは審議会で提案したい。

(事務局)

- ・ 人権の尊重とセーフティネットについて新たに項目を追加させていただいた。

(委員)

- ・ この部分の説明がわかりにくいので整理して欲しい。セーフティネットとは何を指しているか。

生活保護、母子家庭支援、ニートなどの就労支援なども含まれる。

従来は狭く捕らえられてきた。年金、医療は区の管轄外なので触れてこなかったが、それではいけないと思い、加えた。

コメント 44 は審議会で討議することとし、その他の提案を反映。

- ・ 個別目標 3 に係わる部分。「新しい高齢者層」のイメージがわからない。わかりやすい説明にすべき。

現在の高齢者は、学歴も高くなっており、趣味も異なってきた。個人差が大きく、価値観も変化している。そのあたりを整理する。

- ・ 高齢者の安全・安心については、成年後見の問題を取り上げていただきたい。品川区では成年後見の団体をつくっている。今後、問題が続出してからでは遅い。

全てのコメントを反映し、言葉の置き換え、文章の整理等を行う

(事務局)

- ・ 施策の「枠組み」については、他の部会から審議会の答申になじまないという意見が出た。検討の結果、削除したい。

一同、了解。

4. 今後の予定

- ・ 本日の討議を踏まえて、文章整理とレベルあわせを行った答申案を、約1週間後には各委員にご送付することとしたい。ご確認の上、どうしても修正して欲しい部分があれば、ご提案いただきたい。

- ・ 施策のレベル感という意味では、第1部会程度としたい。

それでは、これまでの検討内容が消えてしまうのではないか。第2部会のテーマは住民に身近な関心の高い分野。第1部会ほどは削らなくても良いと思う。

以上